

**KIRIN**



よろこびが  
つなぐ世界へ

Joy brings us together

# ヘルスサイエンス領域による シナジー創出

2020年3月  
麒麟ホールディングス株式会社

# ヘルスサイエンス領域における強固なバリューチェーンの構築



各社が保有する業界トップクラスの強みを組み合わせ、強固なバリューチェーンを構築。

	 基礎研究	 応用研究	 商品開発	 製造	 販売 チャンネル
<b>KIRIN</b>	 食～医に関するシーズ		 飲料開発 パッケージング	 生産技術・生産管理	
<b>FANCL</b>		 機能性評価 マスキング技術	 製剤技術	マーケティングカ	 ブランド・卸流通 オンライン・店舗
	 高機能素材の探索			 低コスト 発酵生産技術	 通販 B to B
<b>KYOWA KIRIN</b>	 創薬シーズ	医薬品のため対象外			

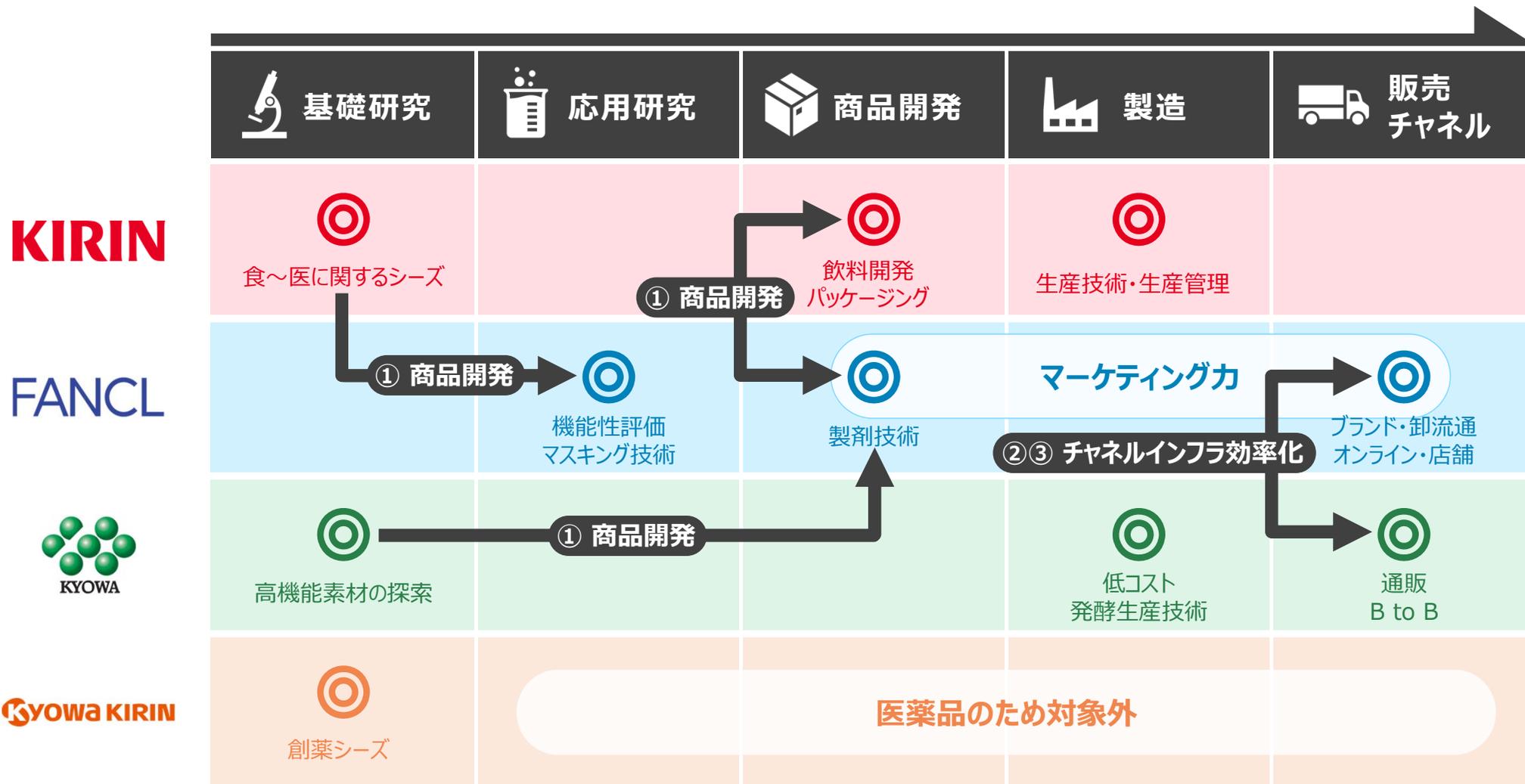
## ファンケルとのシナジー

# ファンケルシナジー：バリューチェーンの補完関係

よろこびがつなぐ世界へ

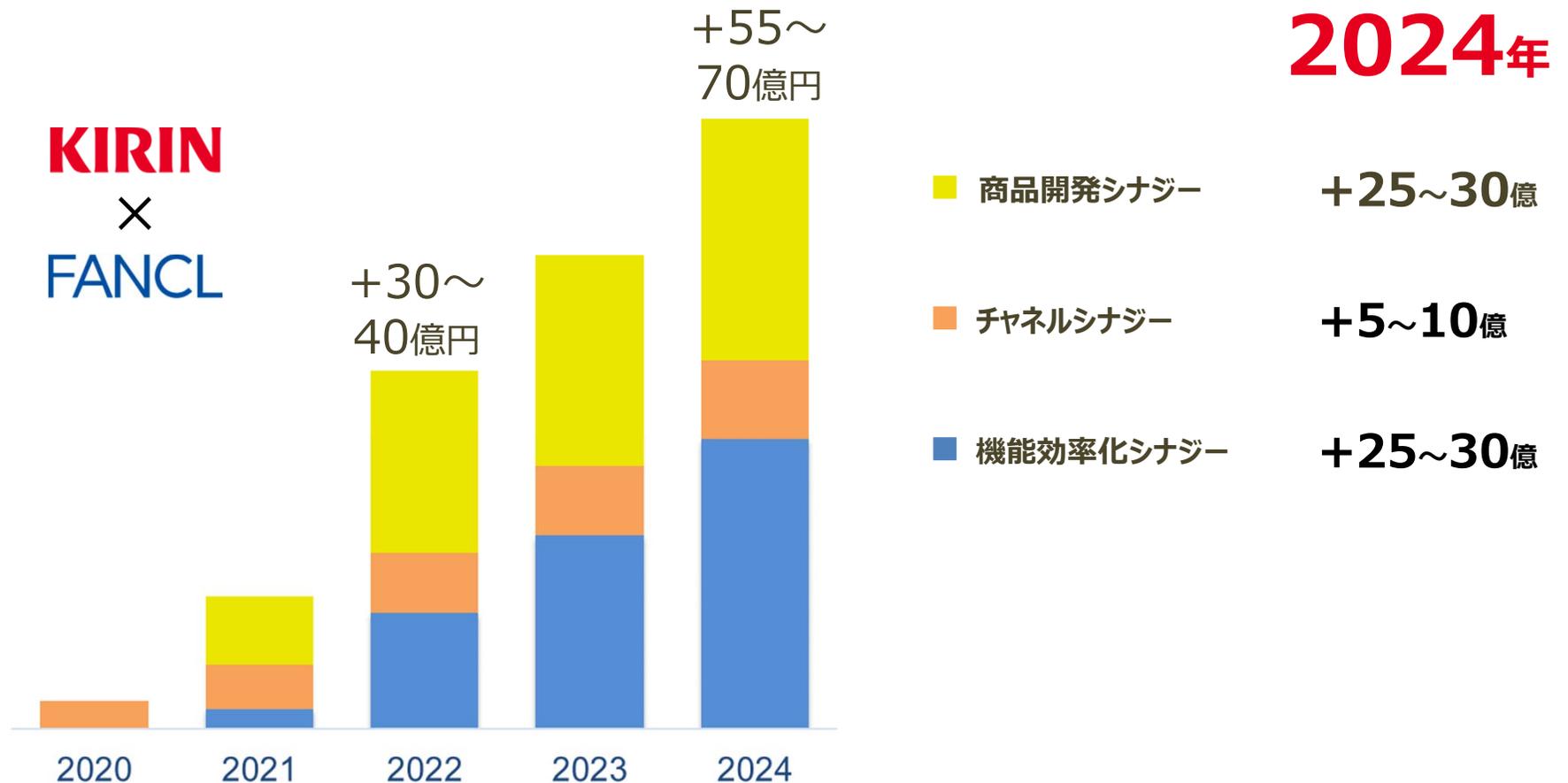


**①商品開発 ②チャネル・インフラ ③機能効率化** において短期・中期で創出。



**ファンケルとのシナジーは、2024年までに約55～70億円の事業利益効果を創出。**

## キリンホールディングスのみに寄与する事業利益額



# 3つのシナジーカテゴリーと具体的な取組み

2020年開始

2021年以降

2024年事業利益  
(キリンホールディングス側のみ)

## ①商品開発

両社の素材・技術を活用

ブランド・素材を活用し、  
顧客ニーズにあわせて、  
食・飲料分野で展開

共同研究を通じて、  
サプリメントをFANCL、  
キリングroupチャンネル等で展開

+25~30億

## ②チャンネル活用 販売促進協力

両社チャンネルを活用

ファンケル製品を  
協和発酵バイオ通販で  
展開

キリンのサプリメントを  
ファンケル通販・越境ECで  
展開

ファンケルチャンネルで  
キリングroup製品（食領域）  
の展開

+5~10億

## ③機能効率化 (コスト効率化)

マーケ・工場などの効率化

通販機能の相互活用（協和発酵バイオ）  
(ファンケルとの通販相互活用によるマーケティング費効率化など)

その他工場／R&D施設などの効率化

+25~30億

# ①商品開発シナジー：ロードマップ

**FANCLブランドを活用したコラボ商品等を発売。  
独自素材を活かしたサプリメントを発売し、市場ニーズに即した商品を展開。**

キリン 売上収益  
事業利益  
主要ニーズ



**高齢者  
健康ニーズ**

- 骨・関節
- 免疫
- 血行促進
- 認知機能

**長く健康で  
働くニーズ**

- 生活習慣病
- 整腸
- マルチバランス
- 筋肉
- リラックス (睡眠など)

**女性特有  
ニーズ**

- ダイエット
- 美肌

**若年層ニーズ  
(栄養対策  
ニーズ含)**

- 滋養強壮
- 肝臓
- アイケア
- ホルモン

**その他**

- オーラル

**サプリメント**  
筋肉 / 骨 / 血行 / 認知

**飲料 (キリンビール)**  
ファンケルブランド・ノウハウの活用

**飲料 (キリンビバレッジ)**  
ファンケルブランド・  
ノウハウの活用

**サプリメント**  
免疫

**サプリメント**  
疲労回復や睡眠改善

**サプリメント**  
集中力アップ

**サプリメント**  
二オイの軽減

**パーソナライズド  
健康提案**

検査技術の活用によるビジネス展開強化

**THORNE**



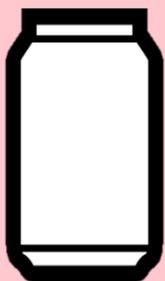
現時点で想定している主要収益貢献商品

# ①商品開発シナジー：2020年秋以降の商品開発事例

商品開発シナジーより生まれる新商品を、2020年秋以降に発売予定。

## 麒麟ビール

ノンアルコール飲料



## 麒麟ビバレッジ

FANCLブランド活用



## ファンケル

キリンG開発素材活用



2020年秋～

## ②チャネルシナジー：ロードマップ

よろこびがつなく世界へ



キリングroup・ファンケル相互のチャネルを活用し、顧客接点を拡大。



キリン 売上収益  
事業利益

2020年

18億円  
2億円

2022年

40億円  
5億円

2024年

60億円  
7億円



キリンビバレッジ  
「naturals」



ワインのおいしい未来をつくる。

Mercian



FANCL



通販相互活用

FANCL  
通販チャネル

小岩井  
宅配チャネル

協和発酵バイオ

健康食品オンラインショップ



B to Cの展開



B to Cの展開



## ②チャネルシナジー：両社の強み

**ファンケル店舗におけるキリングroup商品の展開や  
通販チャネルの相互活用により顧客層及び売上を拡大。**

**300万人へのリーチ**

**FANCL ONLINE + 直営店舗**



**リピート率9割**

協和発酵バイオ  
**健康食品オンラインショップ**

**売上高**

ファンケル化粧品：**567億円**  
サプリメント：**439億円** (同上)

**85億円**

**顧客層**

メインユーザー：**30代~50代女性**  
アクティブユーザー数：**300万人**  
通販サブ定期顧客率：**50%**

メインユーザー：**60代以上男性**  
アクティブユーザー数：**24万人**  
通販定期顧客率：**90%以上**

**商品  
ポートフォリオ**

化粧品：**約150商品**  
サプリメント：**約110商品**

**約25商品**

**キリンにて  
発生する  
主な  
シナジー**

**<協和発酵バイオ通販  
サイト閲覧数向上>**  
ファンケル通販サイトにて  
広告展開し、協和発酵バイ  
オ通販サイトに誘導を行う

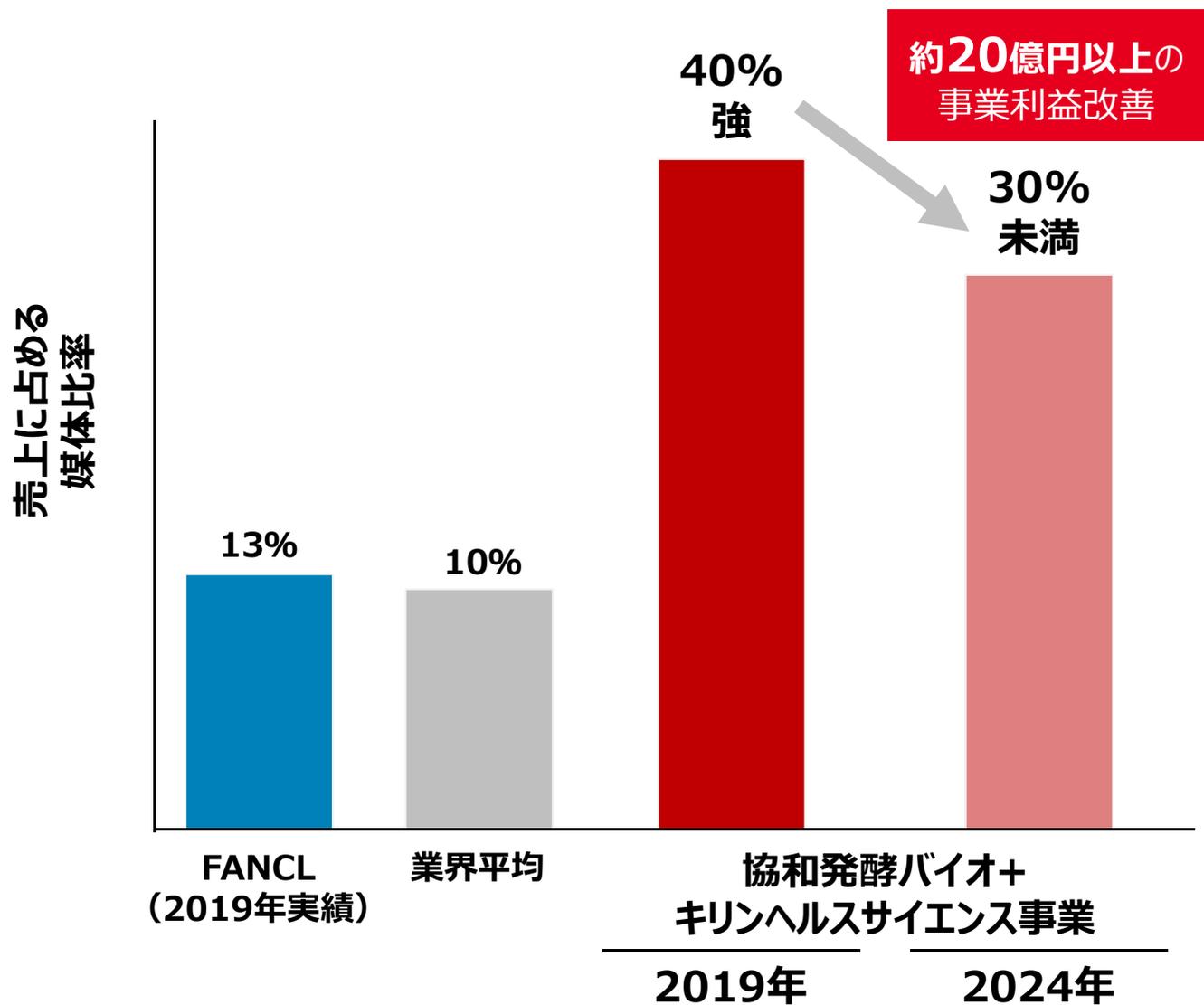


**<協和発酵バイオ通販  
での販売商品増加>**  
ファンケルサプリメントを協和  
発酵バイオの顧客層向けに  
カスタマイズした商品の展開



### ③機能効率化シナジー：媒体費用の効率化

ファンケルのプラットフォームやナレッジを活用し、既存のキリンヘルスサイエンス事業の媒体費用を効率化。また、商品の組み合わせ販売により、一顧客当たりの媒体費用を削減。



#### 媒体費用が高い背景

商品満足度は高いものの：

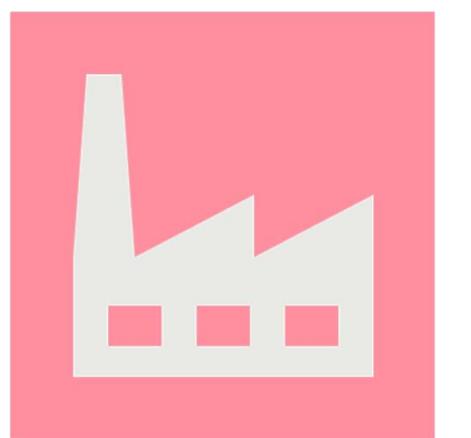
- 認知度が低い：  
新規顧客を対象に積極的な営業を実施してきた
- 1アクティブユーザー当たりの広告費が割高：  
SKUが少なく、組み合わせ販売が困難

#### FANCLと協働し削減

- ファンケル直販・通販を活用したマーケティング効率化：  
協和発酵バイオの認知度をマーケティング費用を抑制し向上
- 協和発酵バイオの商品ポートフォリオ拡充（SKU増加）：  
一顧客当たりの媒体費用を削減

### ③機能効率化シナジー：生産インフラ活用

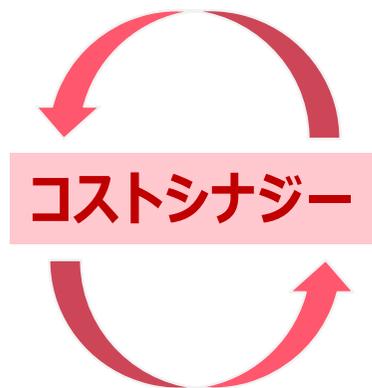
**ファンケル社の製品化ノウハウを導入した協和発酵バイオ通販チャンネル専用商品を、ファンケルの新工場で製造予定（2021年以降発売）。協和発酵バイオのNB商品を含めた、中長期的なコストシナジー検討を開始。**



**FANCL**

**2021年春  
三島工場稼働開始**

**生産委託**



**コストシナジー**

**商品供給**



**2021年春以降  
協和発酵バイオチャンネル  
専用商品発売**

## 相互のチャネルを活用し販売

食領域での商品開発シナジー：1月

FANCL × *Kirin-City*



大好評につき、  
グランドメニューへの  
濃縮野菜の採用  
決定！

結果は想定の  
2倍の売上を達成。  
送客した9割の  
お客様が最近  
FANCL未購入層

キリン法人チャネルから送客：2月

**FANCL**  
ONLINE

## R&D成果創出

スキンケア領域でのシナジー：1月

よろこびがつなく世界へ  
**KIRIN** **FANCL** News Release  
正直品質。 2020年1月30日

### 白麹菌に含まれる成分が美肌機能に関わることを発見 ～キリンホールディングスとファンケルの共同研究成果～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典、以下キリン）と株式会社ファンケル（社長 島田和幸、以下ファンケル）は、2019年の資本業務提携を契機に共同研究を始めています。このたび、キリンが保有する「白麹菌<sup>※1</sup>」に含まれる成分「14-デヒドロエルゴステロール」（以下、14-DHE）が、美肌機能に関わるタンパク質「アルギナーゼ 1<sup>※2</sup>」の活性を高めることを発見しましたのでお知らせします。

#### <研究背景と目的>

キリンは、自社が保有する「白麹菌（*Aspergillus kawachii*）」に含まれるステロール類<sup>※3</sup>の「14-DHE」に、経口摂取で高い肌質の改善効果があることを確認しています。しかし、どのように肌に働くかというメカニズムは未解明でした。そこで、この「14-DHE」の肌質改善に関するメカニズムの解明と皮膚への効果を視野に入れ、2019年10月よりファンケルと共同研究を始めました。

#### <評価方法と結果>

ファンケルは、従来から皮膚表面に多く存在する「アルギナーゼ 1」が、角層の保湿機能や肌の酸化、糖化の制御に関わり、肌の明るさやシワなど美肌に導く重要なタンパク質であることを確認しています（図 1,2）。今回、このタンパク質に着目し、「14-DHE」を評価しました。

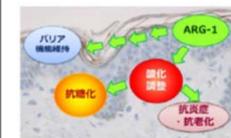


図1 「アルギナーゼ 1」の皮膚内の機能

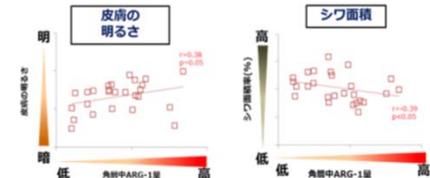


図2 角層中の「アルギナーゼ 1」（ARG-1）量と皮膚の明るさ（左）、シワ面積（右）の関係

「白麹菌」の菌体抽出物から精製された「14-DHE」を、培養したヒト表皮角化細胞に添加し、「アルギナーゼ 1」の酵素活性を測定しました。その結果、「14-DHE」を添加していない細胞のコントロールと比較して、「14-DHE」を添加した細胞では、「アルギナーゼ 1」の高い活性を確認しました（図 3）。これにより、「14-DHE」は美肌タンパクの「アルギナーゼ 1」を活性化させる働きがあることが分かりました。「アルギナーゼ 1」は、皮膚の保湿機能、酸化や糖化を制御する機能など、老化による皮膚機能の低下を正常化する働きがあり、美肌タンパクと言われています。「アルギナーゼ 1」の活性化が進むと、美容機能が高まり美肌効果が大きいと期待できます。

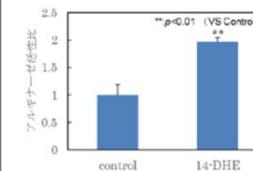


図3 「アルギナーゼ 1」の活性測定結果  
コントロールの活性を 1 とした場合の活性比率

## 脳領域、免疫・腸内環境領域は、ファンケルとの共同研究を既に開始。 協和キリンとの共同研究により、潜在ポテンシャルが高い腎領域での市場創造へ。

よろこびがつなく世界へ



FANCL  
正直品質。

### News Release

2020年1月30日

#### 『脳機能』をターゲットとした共同研究プロジェクトを開始 -キリンホールディングス株式会社と株式会社ファンケル-

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典、以下キリン）は、2019年に資本業務提携をした株式会社ファンケル（社長 島田和幸、以下ファンケル）と、『脳機能』をターゲットとした共同研究プロジェクトを2020年1月から開始しました。

今回、両社のこれまでの脳機能に関する研究成果を共有し、効率的に新たな価値創造に向けた共同研究プロジェクトが実現しました。今後は両社の強みを生かしたさまざまな取り組みを本プロジェクト内で進め、シナジー効果を創出していきます。

よろこびがつなく世界へ



FANCL  
正直品質。

### News Release

2020年1月30日

#### 『腸内環境』をターゲットとした共同研究プロジェクトを開始 -キリンホールディングス株式会社と株式会社ファンケル-

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典、以下キリン）は、2019年に資本業務提携をした株式会社ファンケル（社長 島田和幸、以下ファンケル）と『腸内環境』をターゲットとした健康増進に向けた共同研究プロジェクトを2020年1月から開始しました。

以前から、ファンケルは腸内環境を整え、体重・体脂肪を減らす機能性表示食品「内脂サポート」の研究開発をはじめ、腸内環境の改善を介した生活習慣病の研究を進めてきました。またキリンは、免疫研究を通じて得られた「プラズマ乳酸菌」や「KW 乳酸菌」の事業化を行ってきました。

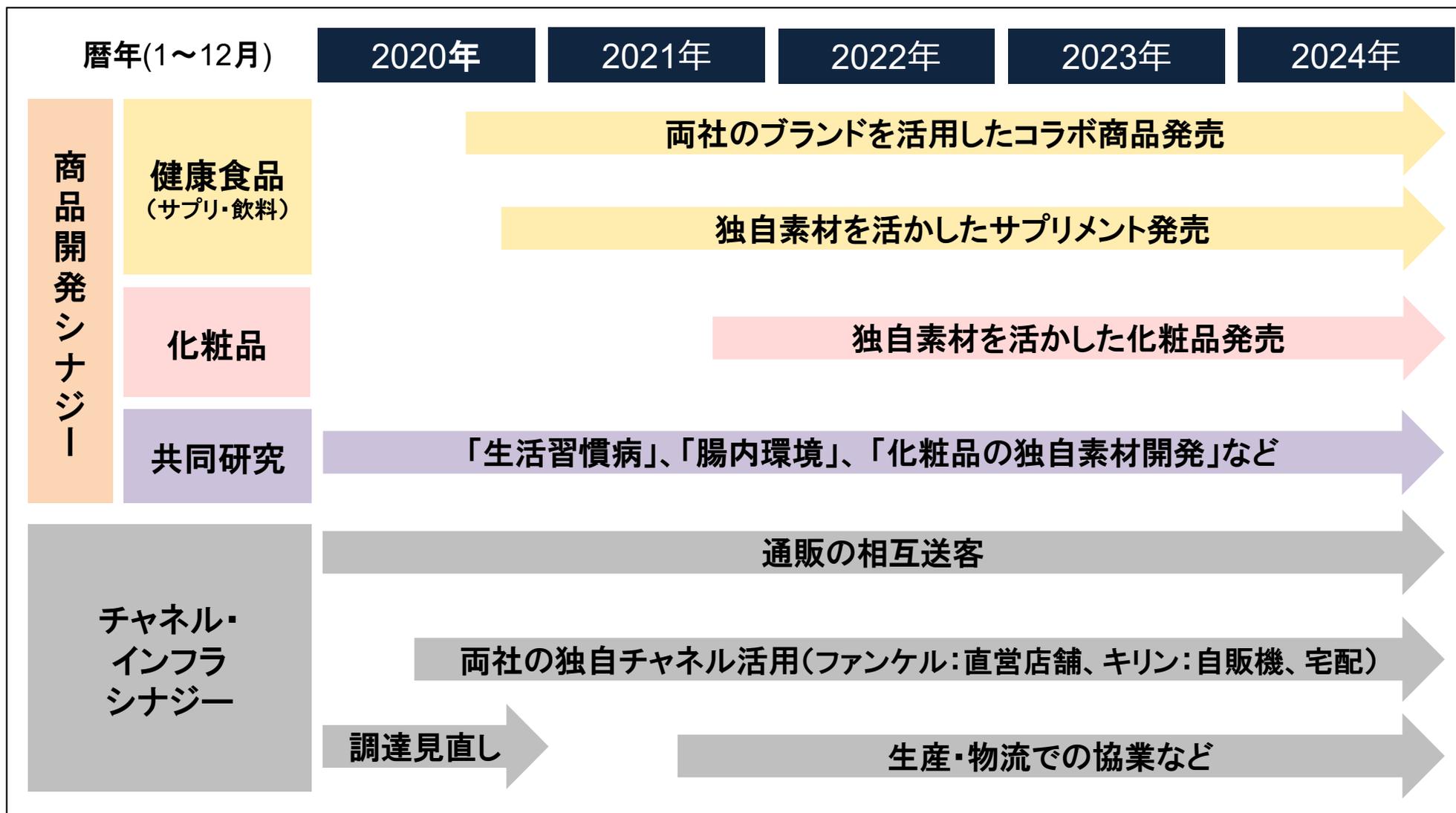
今回、両社のこれまでの腸内環境に関する研究成果を共有し協働することで、効率的に新たな価値創造を目指す共同研究プロジェクトが実現しました。今後は両社の強みを生かしたさまざまな取り組みを、本プロジェクト内で進めていきます。

FANCL

正直品質。

## キリンホールディングスとの取り組み

**シナジー効果 (2024年度)**      ファンケル単独:売上高 約130億円、営業利益 約20億円



## 健康食品と化粧品の一休開発により、研究資産を有効活用

### 健康食品の素材、研究・技術を化粧品に応用した事例

ビタミンB

疲労感の解消



ニキビ・皮脂の調整効果



男性用化粧品  
「無添加 メン」

シリマリン

肝機能の改善



皮膚のターンオーバー促進  
シワ予防



最高峰美容液  
「ビューティコンセントレート」

レスベラトロール  
(ビニフェリン)

長寿遺伝子の活性化

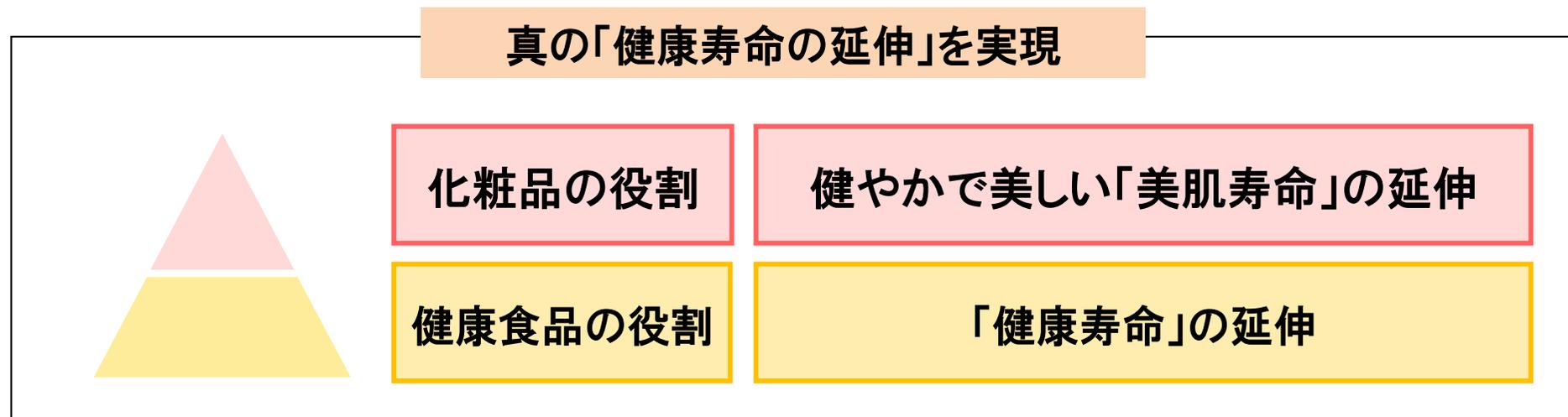
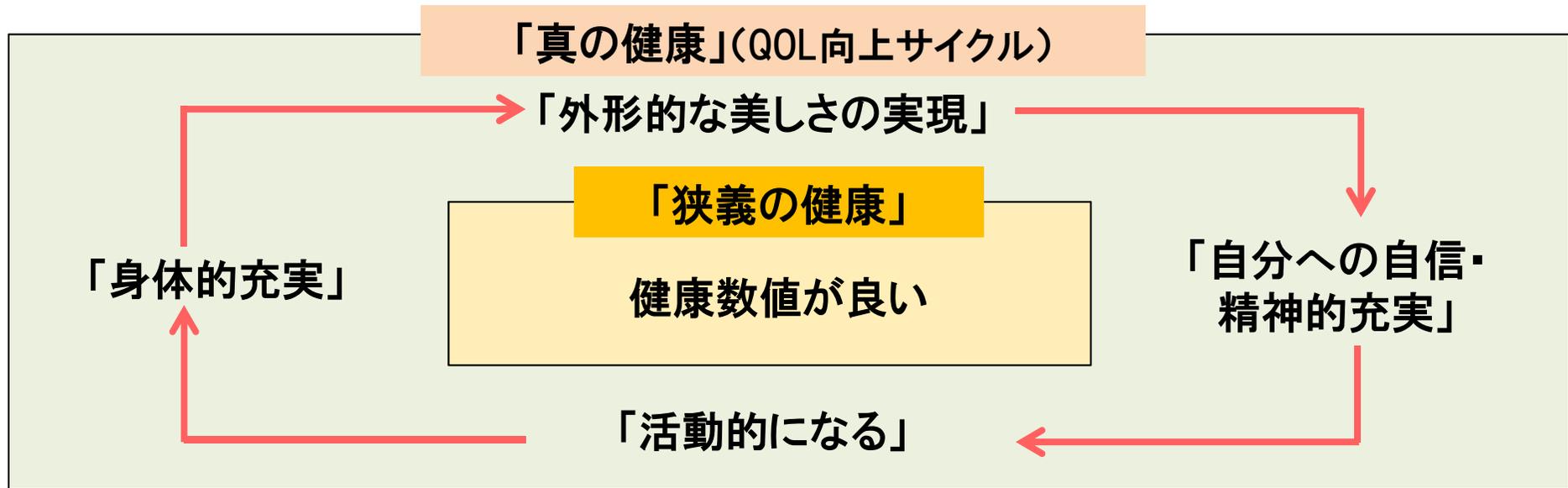


コラーゲン弾力性Up



最高峰エイジングケア  
「BCライン」

「健康」と「美」は表裏一体の関係。「真の健康寿命の延伸」を実現する唯一無二の存在

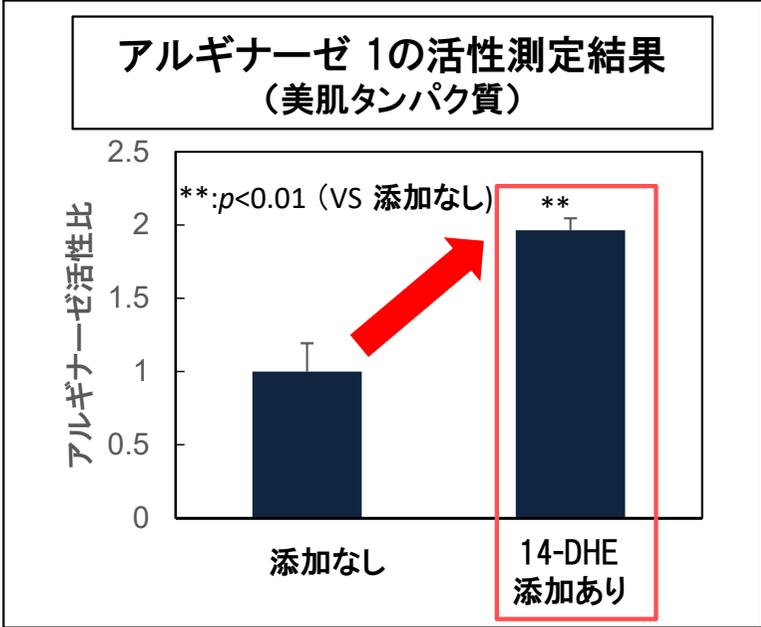


## キリンの食品分野で有する独自素材をファンケルが化粧品に応用

白麴菌に含まれる成分が  
美肌機能に関わることを発見

アンチエイジング化粧品に応用

白麴菌に含まれる成分(14-DHE)が、**美肌機能**  
に関わるタンパク「アルギナーゼ 1」の  
**活性を高める**ことを発見。1月に特許を出願



約10のプロジェクトを立ち上げ  
化粧品素材としての効果を評価中

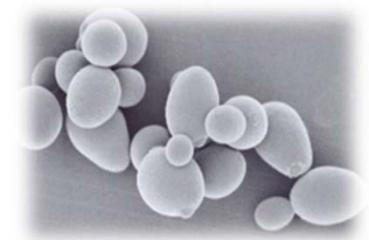
熟成ホップ  
エキス



紅茶や緑茶に  
含まれる成分



発酵に使用されて  
いる酵母



etc

## 協和キリンとのシナジー

# シーズを中心とした基礎研究での機会創出

キリングroup R&D部門の共同研究により、中長期な成長機会を創出。

	 基礎研究	 応用研究	 商品開発	 製造	 販売 チャンネル
<b>KIRIN</b>	 食～医に関するシーズ		 飲料開発 パッケージング	 生産技術・生産管理	
<b>FANCL</b>		 機能性評価 マスキング技術	 製剤技術	マーケティングカ	 ブランド・卸流通 オンライン・店舗
 <b>KYOWA</b>	 高機能素材の探索			 低コスト 発酵生産技術	 通販 B to B
<b>Kyowa KIRIN</b>	 創薬シーズ	医薬品のため対象外			

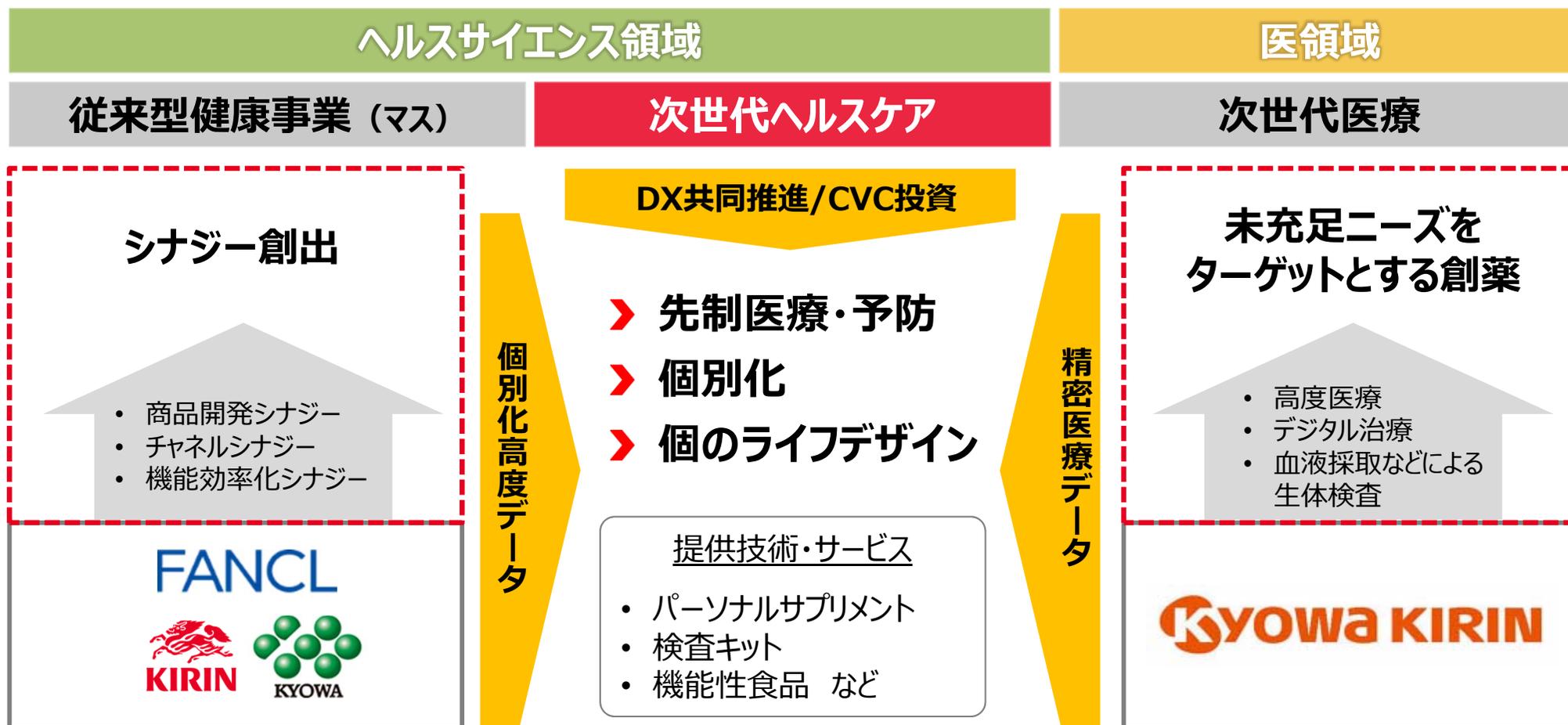
共同研究

**医領域・食領域の研究を組み合わせ、新たなイノベーションを起こす。  
協和キリン、キリンHDの強み、市場成長性を考慮し、  
「脳」「免疫・腸内環境」「腎」の3領域に注力。**

	市場規模	強み	R&D	商品展開		24年度 事業利益
				2020- 24年	2024年度 以降	
<b>脳</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳 : 1,043億円</li> <li>● 65歳以上 5人に1人が認知症</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● エビデンスのある食品素材</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アカデミアとのネットワークを活かした最先端研究</li> <li>● 熟成ホップ、βラク トリン、フェルラ酸</li> </ul>	キリンHD、FANCLでの機能性表示食品販売	脳の健康ビジネス (外部活用)	10億円
<b>免疫 / 腸内環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免疫 : 1,782億円</li> <li>● 整腸 : 4,126億円</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● エビデンス</li> <li>● 研究設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キリンHD・FANCL共同研究</li> <li>● プラズマ乳酸菌、KW乳酸菌</li> <li>● マイクロバイオーム</li> </ul>	THORNEとの協業 (GutBio 腸内細菌)	プロバイオティクス / スキンバイオーム商品販売	5億円
<b>腎</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活習慣病 : 10,301億円</li> <li>● 慢性腎臓病 1,300万人</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品シェア 5割以上</li> <li>● 強固な学会ネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キリンHD・協和キリン共同研究</li> <li>● 慢性腎臓病予防</li> </ul>		ライセンス商品導入 / 機能性表示食品販売	1-3億円 (27年以降)

## 未病ケア・先制医療予防、個別化、全世代における個人のライフデザインといった次世代ヘルスケアにグループをあげて取り組む。

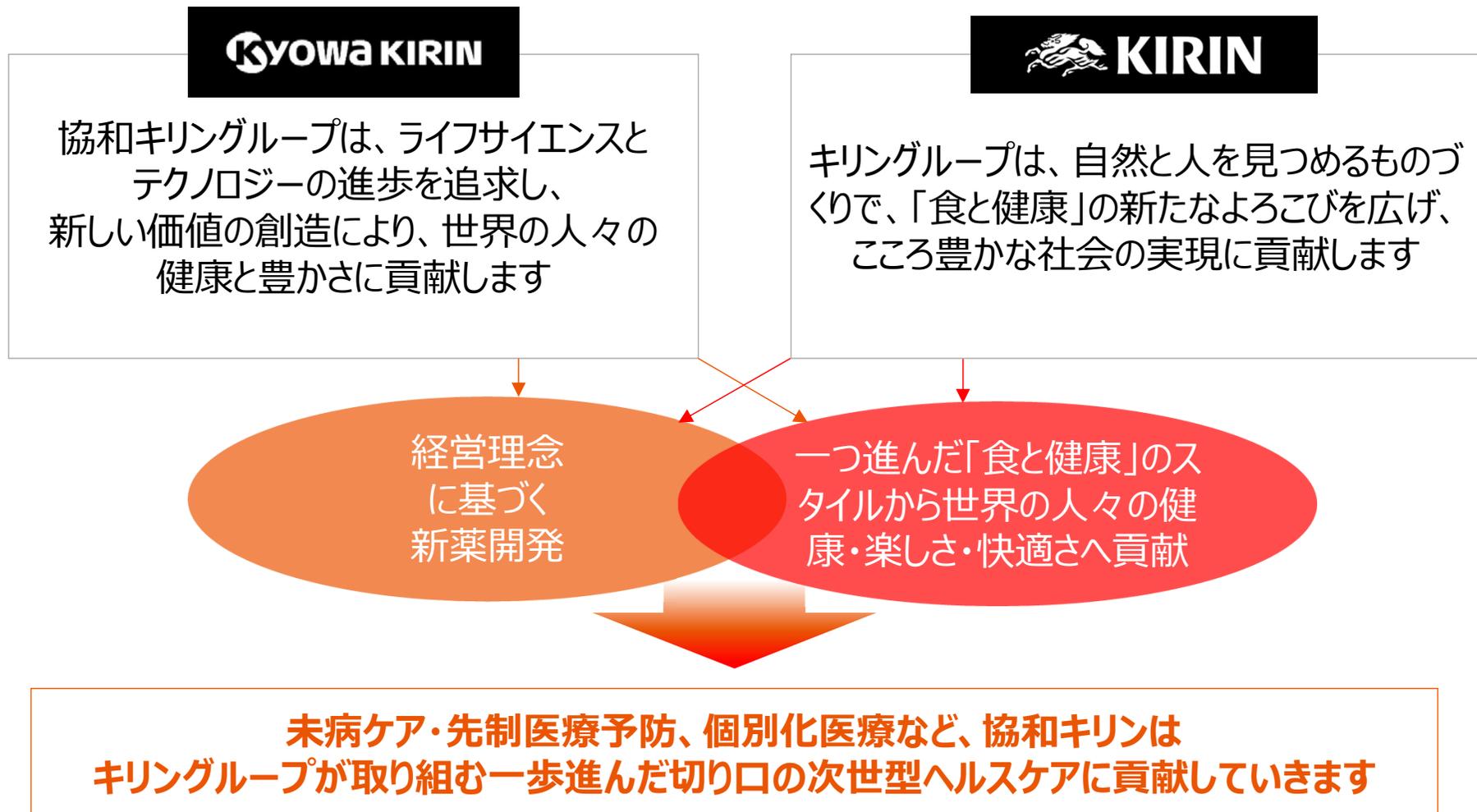
- ① FANCLが2020年にスタートした個別化事業に、THORNE等での取り組み内容を融合
- ② 顧客データ活用による事業貢献に向け、デジタルトランスフォーメーション（DX）を共同推進
- ③ 新規事業創出に向けて必要なアセットをコーポレート・ベンチャー・キャピタル投資（CVC）も含めて獲得



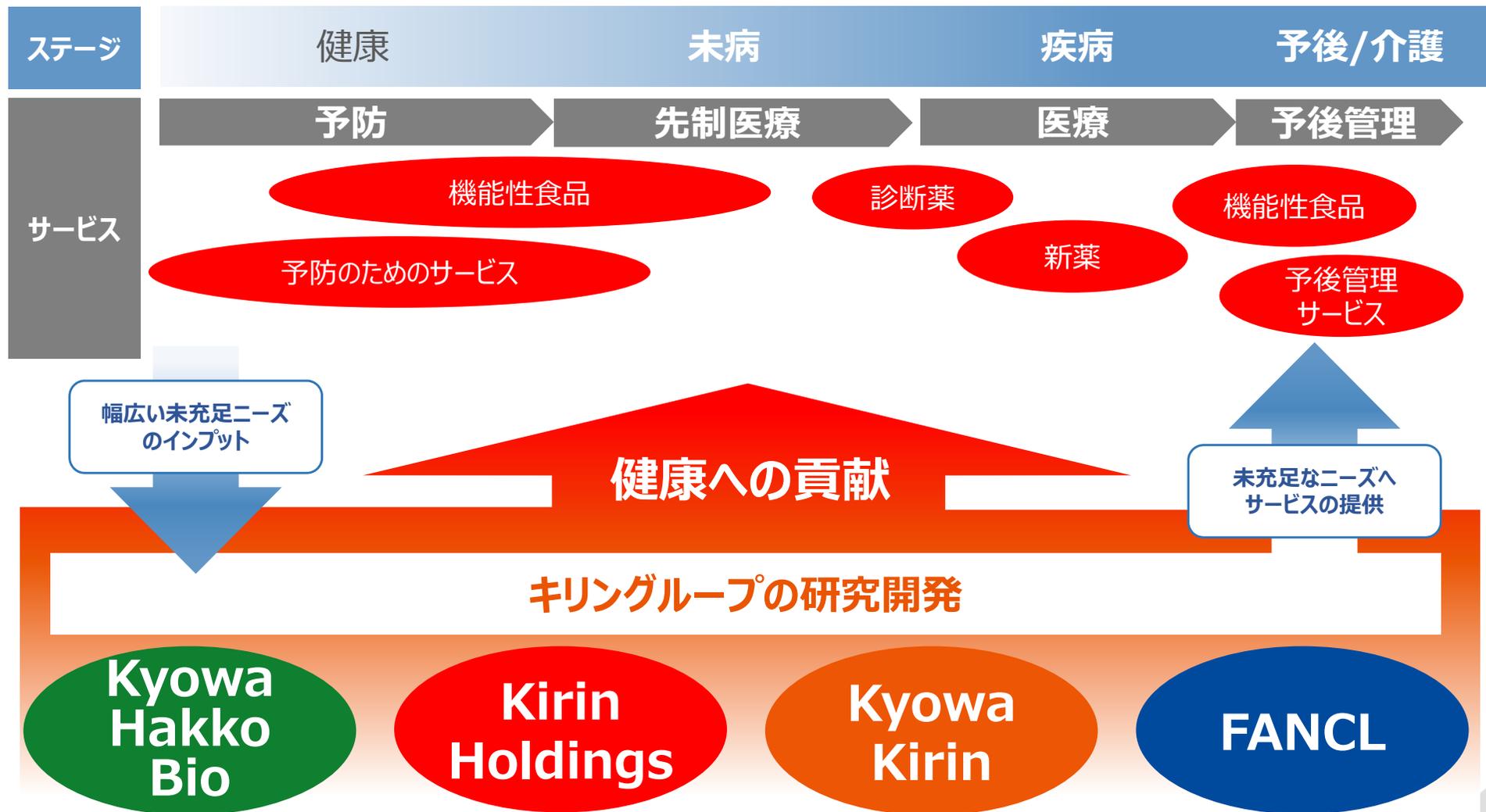
# 協和キリン

—更なる成長に向かって—  
キリングroupにおけるシナジーの創出

# キリングroupにおけるシナジーの創出 —経営理念の共有—

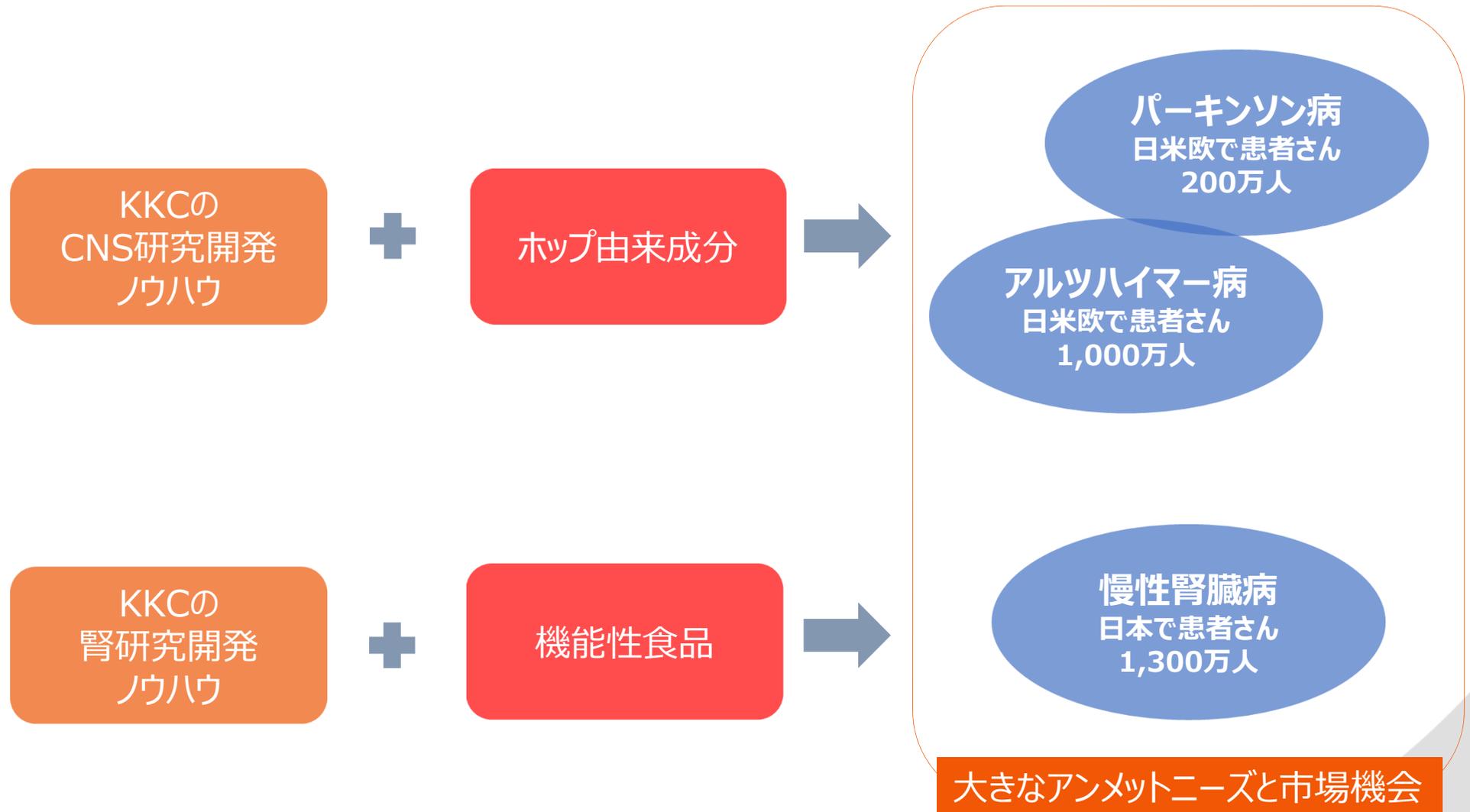


# キリングroupにおけるシナジーの創出 一次世代型ヘルスケアへの貢献



## キリングroupにおけるシナジーの創出

### ◆脳、腎、免疫・腸などをターゲットとした共同基礎研究



## キリングroupにおけるシナジーの創出

- ◆ 脳、腎、免疫・腸などをターゲットとした共同基礎研究
  - 2016年より、健康価値創出のきっかけ作りとしてKH/KKC/KHBで定期的な研究所交流イベントの実施
  - 個別契約のもとでプロジェクトへの落とし込みと、特許出願等も含めた事業価値創造の取り組み

# APPENDIX

機能性の表示が  
できない

機能性の表示が  
できる



トクホとは異なり、国が安全性と機能性の審査を行わないため、事業者は自らの責任において、臨床試験などによる科学的根拠を基に適正な表示を行う必要がある。

**安全性・機能性に関する科学的根拠と  
ブランドへの信頼が不可欠**

機能性表示食品の成長性

